

平成 15 年度嵐山観光地交通対策の実施結果について

平成 15 年度嵐山観光地交通対策の実施報告

～平成 15 年度の取組方針～

嵐山地区の秋の観光シーズンにおける渋滞などの交通問題の解決に向け、平成 13 年度から 2 箇年にわたり交通社会実験を実施し、一定の効果を確認することができた。

平成 15 年度においては、継続的かつ着実に実行できる施策として、秋の臨時交通規制を 11 月の 1 箇月間の土曜、日曜及び休日に実施した。併せて、11 月 15 日（土）、16 日（日）、22 日（土）～24 日（月・休）の 5 日間には、自動車の流入抑制と公共交通の利用促進を図るためのパーク＆ライドを実施した。

また、公共交通の利用促進やこれらの施策の周知を図るため、各種媒体を活用した積極的な広報・PRを行った。

| 施策名称 | 施策分類 | 施策内容 | 展開ステージ | | | |
|-------------------------------|------------------------|----------|---|------|-----|--|
| | | | 出発前 | 経路途中 | 地区内 | |
| 公共交通の利用促進 | ポスター、チラシ等による交通対策実施の周知 | 支援 施策 | ポスター、チラシ、その他の情報媒体を効果的に活用し、観光ピーク時（11月紅葉シーズン）の 交通対策及び公共交通利用促進を、事前から広範にPR した。 10/27よりポスター掲出 10/31よりチラシ事前配布 11/15、16、22～24に京都東、京都南IC料金所出口でチラシ配布 | | | |
| | 「あらしやま・さかの便利帖」による情報の提供 | 支援 施策 | 「あらしやま・さかの便利帖」により 市民や一般観光客へ秋の臨時交通規制やパーク＆ライドの実施の周知 を図った。 10/31より事前配布 パーク＆ライド駐車場で11/15、16、22～24に配布 | | | |
| | インターネット・携帯電話による情報の提供 | 支援 施策 | 交通政策課のホームページ内のURL： http://www.e-arashiyama.com 及び携帯電話により、 施策内容及び公共交通利用促進等について事前から広範にPR することにより、自動車交通の抑制を図った。 10/18より公開 | | | |
| | 観光企画切符の推進とパッケージ的なPR | 支援 施策 | 嵐山地区を対象として各公共交通事業者が発行している企画切符等の存在を、各種情報媒体により利用者にパッケージ的に示すことで、 公共交通の魅力・利便性をアピール した。 10/18よりホームページで情報提供 | | | |
| 公共交通への転換促進 | パーク＆ライドの実施 | 中心 施策 | 京都観光を目的としたマイカーをチラシや看板等を用いて周辺 4地区の駐車場に誘導し、駐車場から公共交通により嵐山地区等までの移動促進 を図った。 11/15、16、22～24の5日間実施 パーク＆ライド実施時間帯9時～18時(入庫は14時まで) | | | |
| 嵐山地区における交通の円滑化及び歩行者の安全・快適性の向上 | 嵐山地区における秋の臨時交通規制の実施 | 中心 施策 | 歩行者が最も集中する 長辻通（新丸太町通～渡月橋北詰）を路線バスを含む全ての車両を北行き一方通行規制 として、歩行者の安全性、快適性の向上を図った。同時に、 嵯峨街道の南行き一方通行規制（路線バス、二輪を除く）の徹底 を行い、地区内の交通円滑化を図った。 11月の土曜、日曜及び休日に実施 長辻通の路線バスを含む北行き一方通行規制 10時～18時 嵯峨街道の南向き一方通行規制（路線バス、二輪を除く） 10時～16時（ただし、土曜日は正午～16時） | | | |

嵐山地区における秋の臨時交通規制等の実施概要

長辻通（新丸太町通～渡月橋北詰）の交通規制

- ・ 規制内容：北行き一方通行
- ・ 規制車両：路線バスを含む全ての車両（自転車を除く）
- ・ 規制時間：午前10時から午後6時まで

渡月橋以南の嵯峨街道（渡月橋北詰～四条通）の交通規制

- ・ 規制内容：南行き一方通行
- ・ 規制車両：路線バス，二輪車を除く一般車両
- ・ 規制時間：午前10時から午後4時まで（土曜日は正午から午後4時まで）

阪急嵐山駐車場周辺における交通誘導【任意的誘導】

- ・ 保津川遊船のトラック：阪急嵐山駅経由で嵯峨街道を南行
- ・ 阪急嵐山駐車場から出てきた車：阪急嵐山駅経由あるいは桂川堤防道路を南行

秋の臨時交通規制等の実施概要図



長辻通における歩行者空間の拡大



観光ピーク期の11月15日～24日の土曜、日曜及び休日の5日間は、カラーコーンの設置により車道1車線を確保し、歩行空間を拡大した。実施効果が大きかったため、29、30日の2日間についても実施した。

規制開始直後は違反車両も多数見られたが、警備員の集中配置や警察による取締りの徹底等により、違反車両が大幅に減少

- ・ 臨時交通規制実施前には、地元の全戸へチラシを配布するとともに、規制実施中には、地区周辺への規制看板、規制予告看板の設置、主な幹線道路での交通情報提供により、嵐山中心部の交通規制の周知を行うとともに、警備員の配置により、交通規制の徹底・強化を行った。
- ・ 規制開始直後の11月1日～3日には、違反車両も多く見られたが、違反箇所への警備員の集中配置、警察による取締りの徹底等により、違反車両は大幅に減少し、交通の円滑化が図れた。
- ・ また、嵯峨街道の南行き一方通行規制についても、規制看板の設置及び警備員の配置等により交通規制の徹底・強化を行った結果、違反車両も大幅に減少し、【規制看板と警備員の配置（長辻通）】交通の円滑化が図られた。



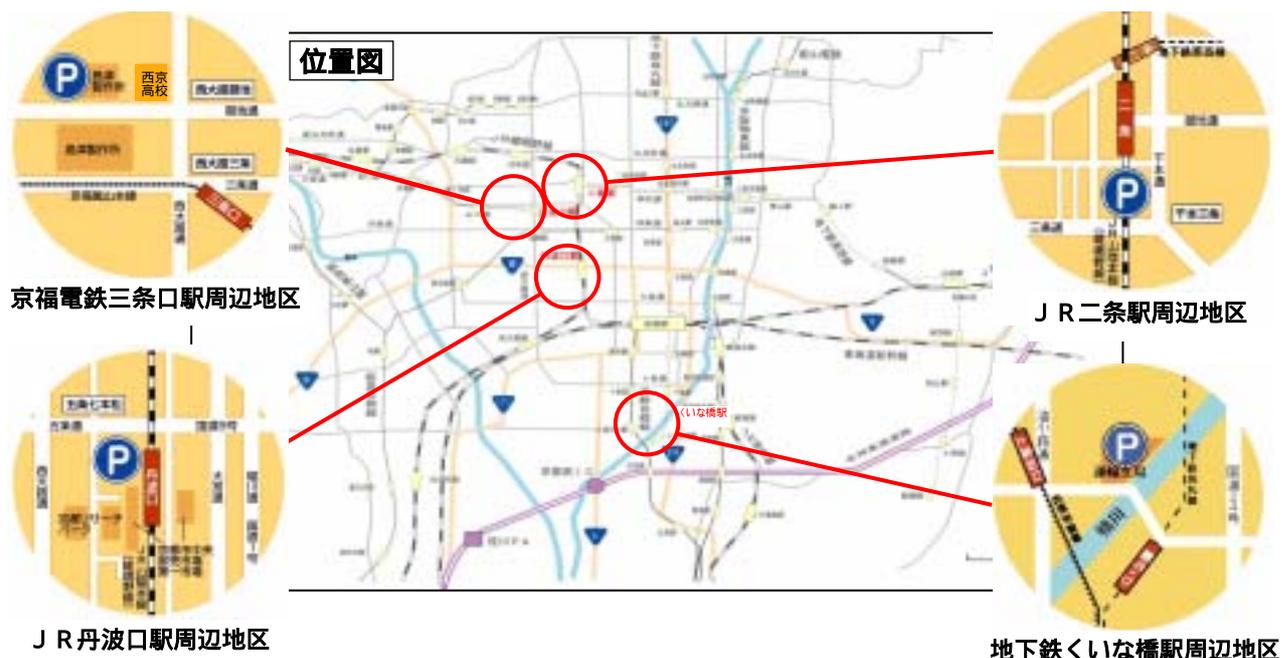
観光ピーク期には、カラーコーンを設置し安全で快適な歩行空間を確保

- ・ 長辻通では、観光ピーク期の11月15日、16日、22日～24日の5日間において、嵐山商店街等の協力を得てカラーコーンを設置し、車道を中央に1車線確保し、残りを歩道として歩行者空間の拡大を図り、安全で快適な歩行空間を確保した。



パーク＆ライドの実施概要

| | |
|-----------|---|
| 実施日 | 11月15日(土), 16日(日), 22日(土), 23日(日), 24日(月・休)の5日間 |
| 実施時間帯 | 9時～18時(入場は14時まで) |
| 対象駐車場 | 下表の4箇所で実施 |
| 対象車両 | 乗用自動車のみ(大型車・バス・二輪車は対象外) |
| システム利用料金 | 1台につき1日100円 |
| 駐車場予約システム | 全駐車場を対象に、ホームページ上及び携帯電話により、事前及び当日予約を受付 |



パーク＆ライド駐車場の利用台数は、5日間で2,756台、
ピークの11月23日の利用は1日で平成14年度2日間分に匹敵

パーク＆ライド駐車場の利用台数は、5日間合計で2,756台であった。特に観光ピークとなった23日(日)は、市内の交通混雑が激しかったこと等から、平成14年度の2日間の実績に匹敵する932台の利用があり、本施策が観光地交通対策としての一定の効果があることが確認できた。

新たに設置した「くいな橋駅周辺地区」にも多くの利用があり、市域全体の観光対策への展開も

今回、嵐山はもとより市内の各観光地にも利用していただけるパーク＆ライドの展開を図るために新たに設置した「地下鉄くいな橋駅周辺地区」については、他の地区と同等の利用台数があり、市域全体の観光対策としての活用の可能性も見出すことができた。

平成15年度 パーク＆ライド利用台数集計表

(単位:台)

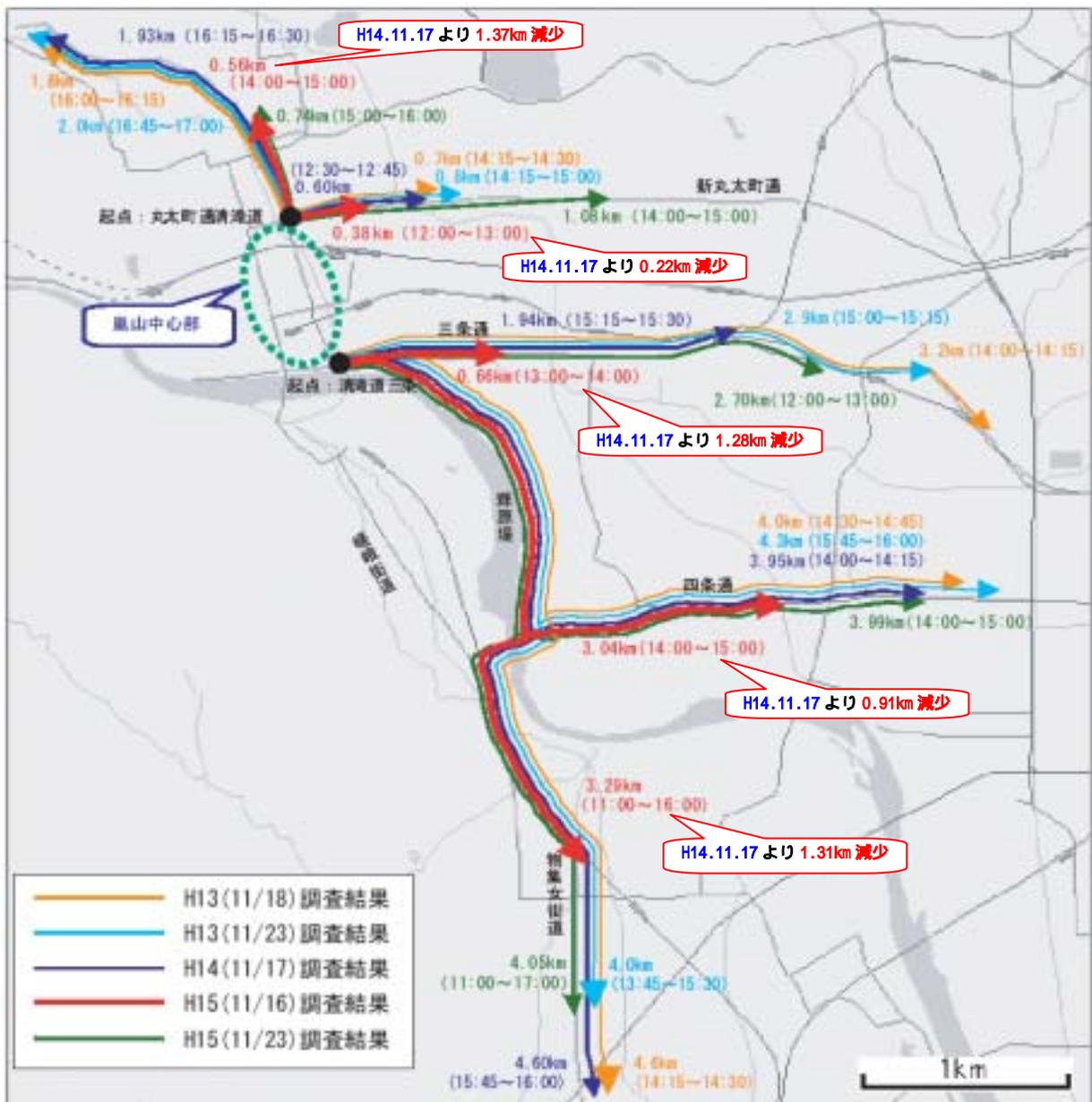
| 駐車場名 | | 15日 | 16日 | 22日 | 23日 | 24日 | 計 |
|------|---------------|-----|-----|-----|-----|-----|------|
| 二条 | | 142 | 215 | 244 | 406 | 265 | 1272 |
| 丹波口 | 京都リサーチパーク | 71 | 8 | 76 | 75 | 103 | 333 |
| | 京都市中央卸売市場第一市場 | | 71 | | 108 | | 179 |
| | 計 | 71 | 79 | 76 | 183 | 103 | 512 |
| 三条口 | | 65 | 80 | 83 | 121 | 88 | 437 |
| くいな橋 | | 68 | 65 | 83 | 222 | 97 | 535 |
| 総数 | | 346 | 439 | 486 | 932 | 553 | 2756 |

交通実態調査結果 ～渋滞長・旅行時間～

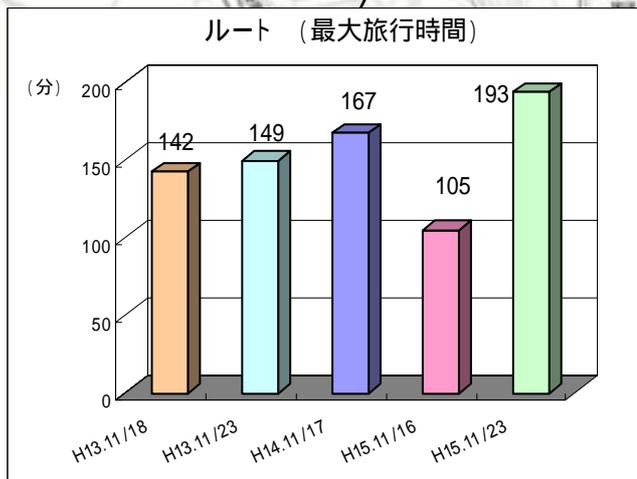
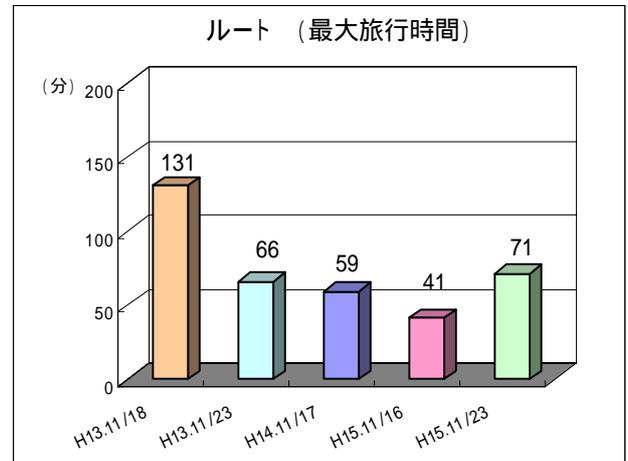
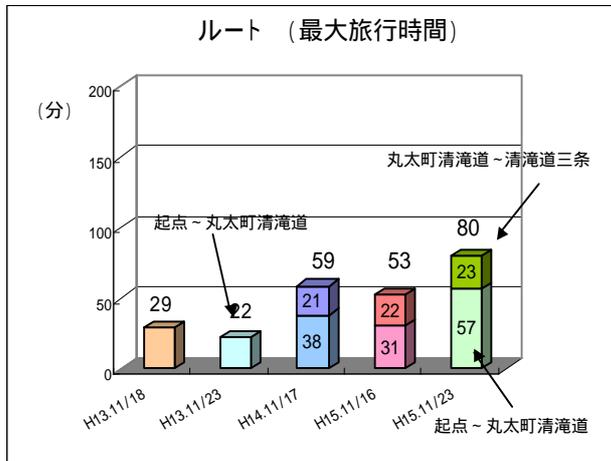
嵐山地区への主要流入ルートへの渋滞が緩和

- 平成14年度の調査日(11月17日)と同時期(平成15年11月16日)における嵐山周辺道路の最大渋滞長を比較すると、平成15年度は各々の路線で減少し、全体で約5km減少している。特に、清滝道、三条通、物集女街道では最大渋滞長が約1km以上減少した。平成13年度(11月18日)と比較しても、同様に全ての方向で渋滞が減少している。
- なお、パーク&ライドを実施した5日間のうち、11月23日(日)は三連休の中日であり、紅葉の時期とも重なったことから、非常に多くの観光客が集中し、嵐山周辺の主要道路の他、市内の主要道路で著しい交通渋滞となった。また、鉄道乗降客数は過年度と比較しても多く、市バス・地下鉄をはじめ、JR、私鉄などの各公共交通機関においても非常に混雑がみられるなど、11月の観光シーズンのなかでも特異な交通状況となった。

【平成15年度と過年度との渋滞長の比較】



【平成 15 年度と過年度との最大旅行時間の比較】



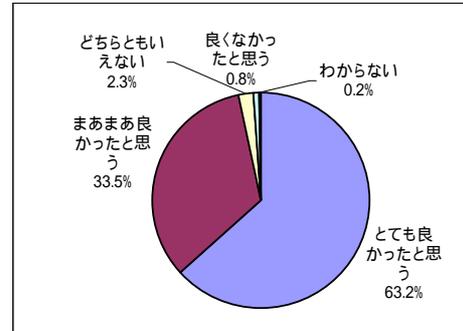
各種アンケート調査結果について

パーク＆ライド利用者アンケート調査結果について

パーク＆ライドはほとんどの利用者から好評

- ・パーク＆ライド駐車場利用者の96.7%が、「とても良かったと思う」(63.2%)あるいは「まあまあ良かったと思う」(33.5%)と回答しており、平成14年度と同様に、パーク＆ライドシステムは好評であったと評価できる。

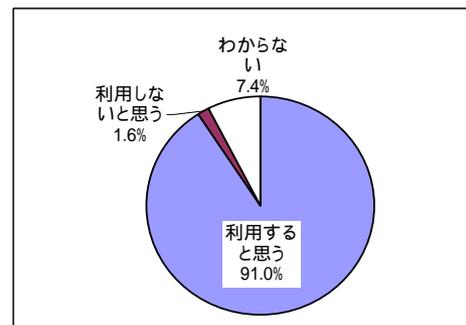
パーク＆ライドを利用した印象



パーク＆ライド利用者の大半が継続実施を要望

- ・パーク＆ライド駐車場利用者の91.0%が次回も利用すると回答していることから、パーク＆ライドを継続して実施する効果は大きいと考えられる。

次回のパーク＆ライドの利用意向



大阪府・兵庫県などの京阪神からの利用とともに、愛知県からの利用も非常に多い

- ・大阪府からの利用が20.5%、兵庫県からが14.0%、京都府内が11.8%と京阪神地域からの利用者が多いことに加え、愛知県からの利用が16.9%と大阪府に次いで2番目に多い。

広範な京都観光に便利であることを広くPR、東山、京都駅方面の利用者が増加

- ・平成15年度は、嵐山・嵯峨野だけでなく他の京都観光にも便利に利用してもらえることを積極的にPRした結果、嵐山・嵯峨野方面への利用とともに、東山や京都駅・東寺等の観光地への利用が大幅に増加した。特に、駐車場ごとにアクセスしやすい観光スポットや所要時間等を紹介したことから、二条駅周辺地区は、東山、二条城、くいな橋駅周辺地区では、東山、京都駅・東寺に多くの方が利用した。

全地区の駐車場予約及び携帯電話からの予約を可能としたことにより、予約件数が大幅に増加、パーク＆ライドの利用向上に大きく貢献

- ・平成15年度は、駐車場の予約をすべての駐車場に拡大し、更に携帯電話からの予約も可能としたことから、パーク＆ライド利用者の27.1%が駐車場予約を利用し、利用促進に効果があったと評価できる。
- ・また、予約利用者の約1/3が携帯電話からの予約であり、予約手段の拡大が効果を発揮し、当日まで予約可能としたことから、当日の駐車場までの経路上からの利用も多かった。

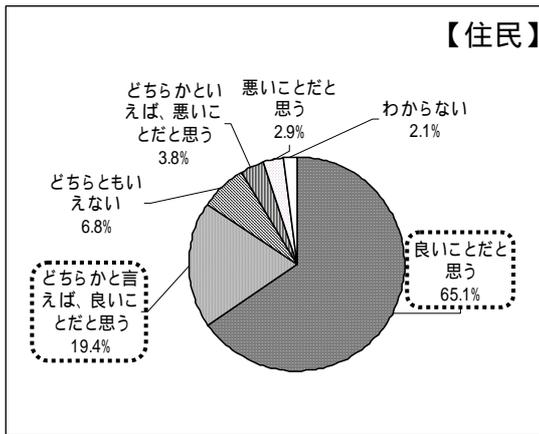
嵐山地区における秋の臨時交通規制アンケート調査結果について

長辻通の北行き一方通行規制について

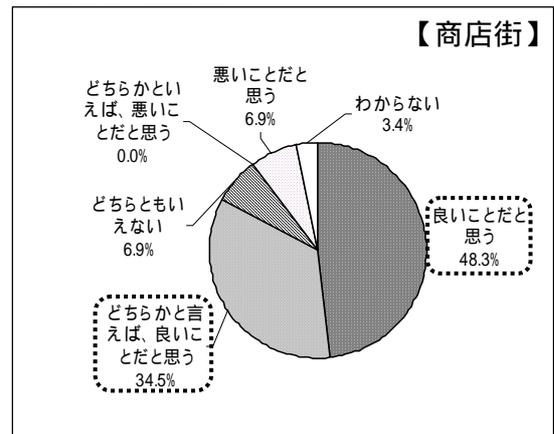
長辻通の一方通行規制については賛同者が大半

- ・路線バスを含む長辻通の一方通行規制の取組については、住民、商店街では8割以上の賛同があり、評価は高い。
- ・今後も継続して取り組むことが望ましいと考えられる。

【住民の評価】



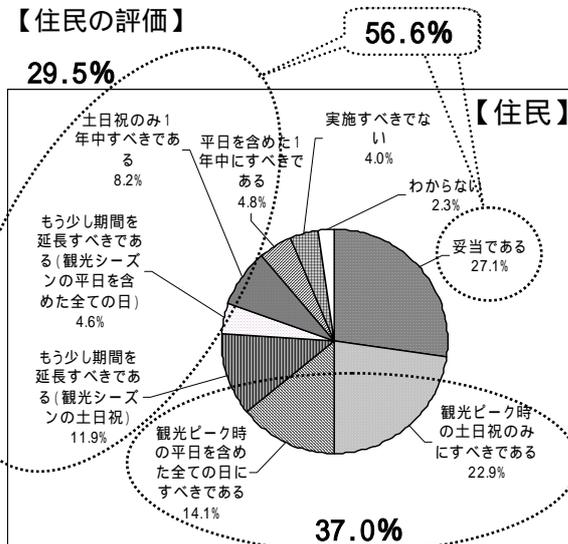
【商店街の評価】



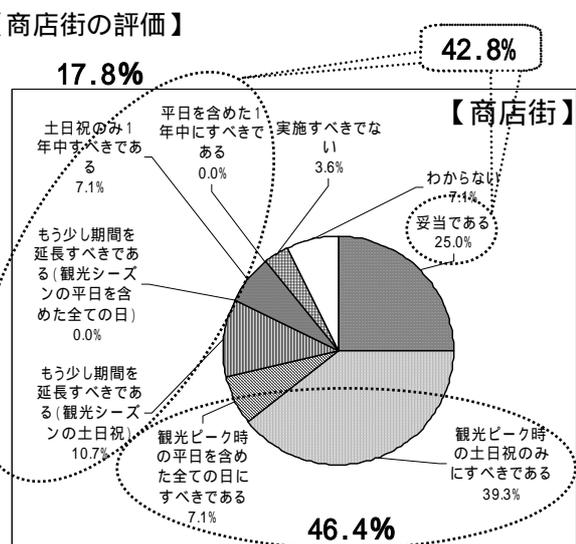
長辻通の規制の時間帯は、今回の期間（11月の1箇月）と観光ピーク時に限定する意見に分かれる

- ・住民の意見としては、「今回の期間」（27.1%）「観光ピーク時の土日祝」（22.9%）「観光ピーク時の全ての日」（14.1%）に意見が分かれている。
- ・「今回の期間」と「延長すべき」を含めると半数（56.6%）を占めているが、「観光ピーク時に限定」は合わせて37%である。
- ・学区別には、嵐山及び嵐山東学区で「観光ピーク時の土日祝」の意見が他学区よりやや多い。
- ・一方、商店街の意見としては、「観光ピーク時の土日祝」が39.3%と多く、次いで「今回の期間」（25.0%）が多くなっている。「今回の期間」と「延長すべき」を合わせると42.8%であるが、「観光ピーク時に限定」も46.4%あり、評価が分かれている。

【住民の評価】



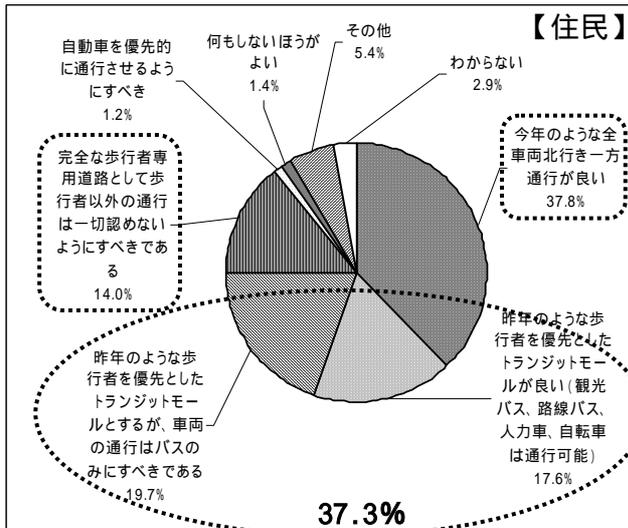
【商店街の評価】



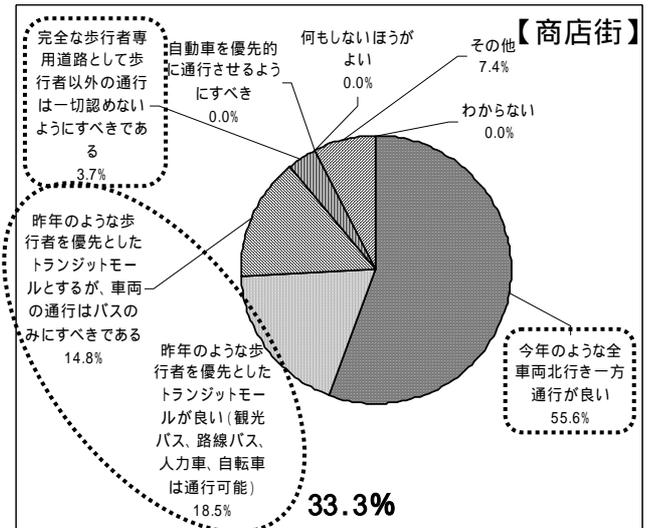
**今後の長辻通における交通政策は、一番支持の多いのは一方通行規制であるが、
トランジットモール、歩行者専用を要望する意見も多い**

- ・住民においては、37.8%の人が今回の施策（一方通行規制）を支持している。一方で、トランジットモールは合せて37.3%、歩行者専用は14.0%である。
- ・商店街においては、55.6%の人が今回の施策を支持している。一方で、トランジットモールの支持は合せて33.3%であり、歩行者専用は3.8%である。
- ・ドライバーにおいては、34.1%の人が今回の施策を支持している。一方で、トランジットモールは24.1%、歩行者専用は22.8%である。
- ・また、トランジットモールにおいても規制対象とするべき車両については意見が分かれている。

【住民の評価】



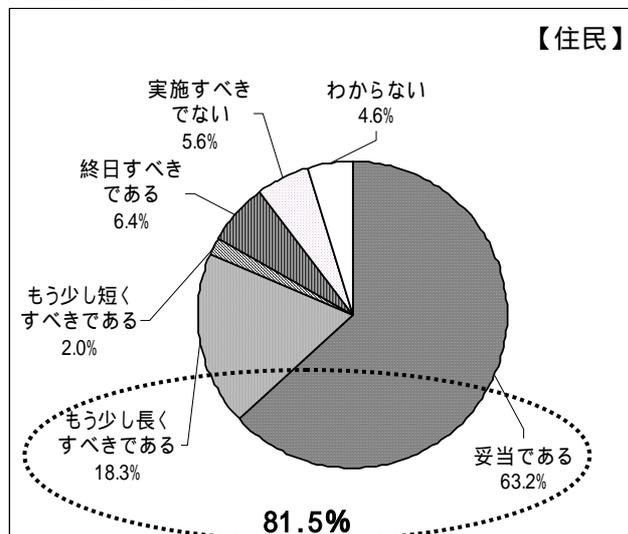
【商店街の評価】



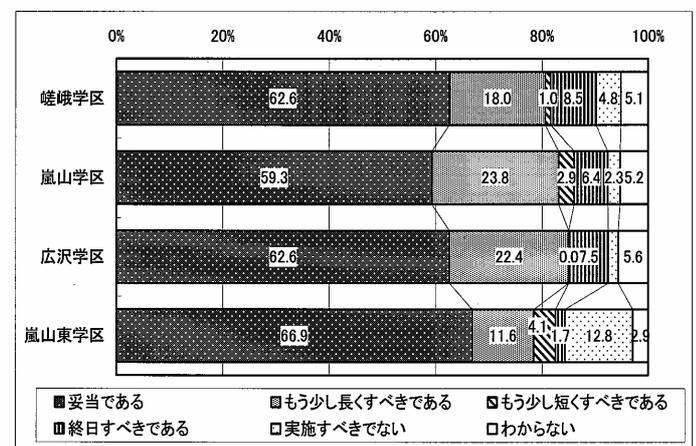
嵯峨街道の規制時間帯は、妥当という意見が多いが、もう少し長くという意見も

- ・住民の評価は、「妥当である」(63.2%)が多いが、「長くすべき」(18.3%)という意見も見られる。
- ・学区別には、嵐山東学区で「妥当である」(66.9%)の意見が他学区よりも多いが、「実施すべきでない」(12.8%)という意見も他学区より多い。
- ・「妥当である」と「もう少し長く」を含めると、住民は約8割、商店街は約6割となっており、実施時間帯は概ね賛同を得られていると思われる。

【住民の評価】



【学区別の評価】



平成 15 年度嵐山観光地交通対策のまとめ

平成 15 年度は、これまでの 2 年間の交通社会実験の成果を活かし、継続して着実に実行できる施策に取り組んできた。今後検討すべき課題を整理する。

嵐山地区における取組の評価と今後の検討課題

(1) 嵐山地区における取組の評価

**交通規制の周知徹底、地元の主体的取組と関係者との連携等により、交通の円滑化と歩行者の安全性・快適性向上に効果を発揮
実施期間等については引き続き検討が必要**

(2) 今後の検討課題

交通規制の実施期間についての検討と合意形成

- ・秋の臨時交通規制の期間は、従来から実施されていた期間(10 月下旬から 11 月)を考慮し、交通状況からの必要性、わかりやすさ等の観点から 11 月の 1 箇月間の土曜、日曜及び休日とした。
- ・実施期間については、住民や商店街から「ピーク期のみ」や「延長」の意見もあり、まだ大半の賛同を得られていないことから、交通規制のわかりやすさ等の観点も踏まえ、今後、更なる合意形成に向けた検討が必要である。

より効率的な交通規制の徹底方法の検討

- ・今回の一方通行規制は、今後継続的に実施する取組の第一歩であったことから、規制看板の設置、警備員の配置や警察による取締り強化等を実施することにより、交通規制を周知徹底できた。
- ・しかし、今後は、警備員等の配置がなくても交通規制が徹底されることが望ましい。
- ・一方、カラーコーンの設置については地元商店街の協力により実施することができ、関係者間の役割分担と連携による今後のモデルとなる実施方法を見出すことができた。
- ・平成 15 年度の成果を踏まえ、今後も継続して実施可能な施策とするため、交通規制徹底の P R や警備の方法等について検討することが望まれる。

長辻通における歩行者空間の拡大策の検討

- ・住民、商店街、ドライバーのいずれも今回の一方通行規制を支持する意見が最も多いが、トランジットモールや歩行者専用を要望する意見もある。
- ・今後も、継続的かつ着実に実行できる施策に取り組んでいく観点から、平成 15 年度に実施した一方通行規制を基本に、円滑な交通の確保と安全で快適な歩行者空間の確保・向上に向け、より効果の高い施策について、更なる検討が望まれる。

交通改善を実感できる効果的な取組の検討

- ・嵐山地区においては、秋の臨時交通規制の実施、パーク & ライド及び公共交通の利用促進の P R などにより、主要な幹線道路の交通渋滞は改善しているが、地元では大きく改善したと実感できる状況にまでは至っていない。
- ・平成 15 年度に実施した長辻通、嵯峨街道及び阪急嵐山駅周辺のいわば中心部での交通対策に加えて、嵐山地区の交通状況に大きな影響を及ぼしている観光バスの集中や駐車場へのスムーズな誘導方法などについては、平成 13、14 年度の交通社会実験での成果も踏まえ、その改善策を検討し、嵐山地区の交通問題が改善したと実感できるようにすることが望まれる。

パーク＆ライドの取組の評価と今後の検討課題

(1) パーク＆ライドの取組の評価

京都市全体のパーク＆ライドへの展望を見出す

駐車場予約システムの充実、交通・観光部局との連携等により利便性が向上し利用拡大、観光地の交通対策としての効果を発揮

駐車場の分かりやすさ向上、開設時間延長の要望については今後要検討

(2) 今後の検討課題

駐車場予約の改善と提供手段の拡大

- ・平成15年度は、4地区全てに駐車場予約システムを導入し、更に携帯電話からの予約も可能としたことから、パーク＆ライド利用者の27.1%が予約を利用し、利用促進に効果があった。
- ・しかし、予約キャンセルをインターネット上でできない等、改善すべき余地もあり、より利便性の高いシステムに改善する必要がある。
- ・また、予約システムを知らなかった利用者も多いことから、PRに工夫が必要である。
- ・一方、インターネットを利用しない人の予約ニーズに対しては、電話やFAXなどの他の手段での予約を検討する必要がある。

JR丹波口駅周辺地区における駐車場の分かりやすさの工夫

- ・パーク＆ライド駐車場は、平成14年度よりもわかりやすかったと評価されたが、JR丹波口駅周辺地区は、他地区よりもわかりにくいという意見が多いことから、よりわかりやすくする工夫が必要である。

ボランティア等との連携によるパーク＆ライド駐車場の運営の検討

- ・パーク＆ライド駐車場利用者からは、駐車場の開設時間及び期間の延長要望が多い。
- ・開設時間の延長は、利用者の観光時間の拡大につながる反面、土地所有者との調整や照明等の施設整備が必要になるとともに、警備などへの影響も大きいため、今後の検討が必要である。
- ・開設期間の延長は、時間の延長よりは関係者等への影響が小さいと考えられるが、現行の方法では運営費用の増加につながるため、ボランティアとの連携による運営等、経費を縮減できる工夫を検討する必要がある。
- ・なお、合わせて、利用促進やPRのしやすさ等を踏まえた駐車場利用料金の検討も必要である。

一般道路利用車への効果的なPRの検討

- ・パーク＆ライド利用者の78%は高速道路利用であり、高速道路料金所でのチラシ配布が大きな効果を発揮したといえる。
- ・今後は、一般道路利用者へのPRが利用促進に効果的と考えられることから、アクセスルートを考慮し、走行中のドライバーに向けた情報提供方法を工夫することが必要である。

適地における安定的な駐車場の確保

- ・パーク＆ライドの実施には、鉄道駅周辺等に駐車場を確保することが不可欠である。
- ・平成15年度に実施したパーク＆ライド駐車場については、土地所有者との協力体制を継続し、安定的に確保することが望まれる。
- ・新たに駐車場を確保する場合には、目的地への近接性、高速道路ICや幹線道路からのアクセス及び帰りの利便性を考慮することが重要である。
- ・また、駅からやや離れた場所では、シャトル便の導入によって利便性を確保することも必要である。

京都観光の玄関口としての情報提供機能の強化

- ・パーク＆ライド駐車場では、交通や観光部局と連携し、市バスや鉄道のキップ販売、観光用ブースの設置、「二条城築城400年祭」「まちなかを歩く日」などのイベントPRを実施し、京都市全体の観光施策としても有効であった。
- ・パーク＆ライド駐車場は、京都観光の玄関口になる場所であることから、京都の観光施策の一環として捉え、公共交通情報や観光・イベント情報等を利用者に伝えることが重要である。
- ・このため、交通事業者や観光関連団体等との連携を強化し、パーク＆ライド駐車場で提供する情報の拡大、観光部局等との共同のPR等を検討する必要がある。